

神 学 部

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 助教授	氏名 David Wider	大学院の授業担当の 有無（有）
-----------	-----------	-------------------	--------------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	2001-2005年	<p>日本語を母国語としていないが、授業はすべて日本語で行う努力をした。その内容を補うために、英語のレジюмеを配布している。</p> <p>授業中に発表したものに対して、授業外にも話し合うときを持ち、丁寧な指導を行った。</p> <p>語学の授業において、毎回小テストを行い、学生の理解度・習熟度を確認し、授業の内容に反映させた。</p>
2 作成した教科書、教材、参考書	2001-2005年	<p>語学（ラテン語）の教科書の内容を補い、学生の理解を深めるために独自の副教材を作成し、授業において配布した。</p>
3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき 事項		

教育実践上の主な業績

所属	職名	氏名	大学院の授業担当の
神学部	教授	加藤善治	有無（有）

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>新約聖書学 I 福音書の時代史的背景と各福音書の特色について</p> <p>最初に、イエスの宣教活動や原始キリスト教、そして各福音書の歴史的背景を、通時的に概説する。それは主にアレクサンドロスの東征から始まるヘレニズム時代の中での、パレスチナのユダヤ人の歴史である。</p> <p>次に、紀元30年直前から始まったイエスの宣教と彼の死後始まった原始キリスト教の活動、そして更に紀元70年前後から同100年頃に成立した各福音書それぞれの大きな意味を、各々の個別的に考察する。</p> <p>評価は、中業ではないか。</p>	<p>2000年4月～ 2000年7月</p>	<p>一方で、ドイツの聖書の歴史的事典（BHH）の中に見いだされる詳細な地図や図式などもつとめて提示した。</p> <p>他方で、イエスについての伝承とその後の発展、更に各福音書の中に見いだされる内容的な重要さに注目すべき事を求める。</p>
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>基本的に「聖書」。</p> <p>但し、所々、意図的に紹介したのがG・タイセン著『ガリラヤ人の影を追って』(ヨルダン社)</p>	<p>同上</p>	<p>G・タイセンは、学生にもわかりやすいように、創作的にロー軍から命令された一ユダヤ人が、イエスと出会うことを目指して、当時の様々な形で生きるユダヤ人たちに会って行く。</p> <p>ファリサイ派、クムラン派などの出会いを描く。それはそれ自体、やはり創作だが、同時に歴史家の創作でもある。</p>
<p>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</p>	<p>同上</p>	<p>特になし。</p>
<p>4 その他教育活動上特記すべき事項</p>	<p>同上</p>	<p>特になし。</p>

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>新約聖書学 F 19世紀後半から20世紀初めにかけて、教会と神学のために、極めて自覚的に新約聖書と組織神学に取り組んだアドルフ・シュラッターについての、W・ノイアーによる伝記を原書で読み進めていく。 全体で900頁を超える大著であるが、読みやすいだけでなく、神学と信仰と教会を見失いがちな学生に対する直接的な援助となる。 また近代の神学思想史を知る良い手がかりとなる。 更には「神学」の本質を教えられるものでもある。 但し、私はシュラッターと並んで、彼と正反対の立場で聖書学に取り組んだW・ヴレーデを同時に視野に入れていることが肝要だと思う。 具体的には、各章ごとに、順番に読むことをした。 学生の評価は不明だが、楽しかった。</p>	<p>2000年4月～ 2000年7月</p>	<p>この伝記は、一方で根拠となる資料的文献類を明確にしなが、他方で、それに基づく具体的事実をわかりやすく描く。</p> <p>新約聖書学などに真剣に取り組む研究者像との出会いだっ。</p>
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>W. Neuer, <i>Adolf Schlatter. Ein Leben für Theologie und Kirche</i>, Stuttgart 1996</p>	<p>同上</p>	<p>1学期に1章を読み、学期の終わりに私の作った訳文を紹介した。</p>
<p>3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等</p> <p>なし</p>	<p>同上</p>	<p>特になし。</p>
<p>4 その他教育活動上特記すべき 事項</p> <p>なし</p>	<p>同上</p>	<p>特になし。</p>

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>【サムエル・フォレンバイダー教授 (スイス・ベルン大学)担当分について】 彼は、広範な初期ユダヤ教及び初期 キリスト教黙示文学について、その輪郭 を明らかにしようとした。 黙示文学は「キリスト教神学の母」(E・ ケーゼマン)と呼ばれた。 そのため、本主題の歴史的及び神学 的次元について概略を述べた後で、い わゆる共観福音書黙示文学(マルコ13 章、ルカ17章)、イエスの神の国宣教、 パウロ神学の黙示文学的次元、そしてヨ ハネ黙示録を取り扱った。 本講義はドイツ語でなされ、私が通訳 した。</p> <p>【加藤善治担当分について】 S・フォレンバイダー教授の帰国後、 マルコ福音書の釈義的な研究を続け た。</p>	<p>2000年4月～ 2000年7月</p>	<p>フォレンバイダー教授の詳細な講義は、彼の優しい人間像と共に、 多くの人にとってうれしかったはずだ。</p> <p>ドイツ、スイスで従来から見つけられる、内容的に非常に豊富な授 業との出会いとの出会いは喜びである。</p> <p>私の授業は、書かれているテキストを色々な伝承史的、編集史的に 読むこと。</p>
<p>2 作成した教科書、教材、参考書 聖書。</p>	<p>同上</p>	
<p>3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等</p> <p>S・フォレンバイダー教授の講演 5月12日(金) 通訳 加藤善治。</p>	<p>同上</p>	<p>人々が広く集まった講演会として好評だった。</p>
<p>4 その他教育活動上特記すべき 事項</p> <p>特になし</p>	<p>同上</p>	

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>新約聖書ギリシャ語 I 新約ギリシャ語の基礎を学ぶこと。 旧・新約聖書は、説教者、神学者として自己を形成していくために不可避である。 特に新約聖書を学ぶことは、キリスト教の原点である原始キリスト教に直接、触れることである。そのために、どうしても、新約聖書ギリシャ語を学ぶことが不可避となる。 最も基礎的な内容に触れながら、徐々に文法の全体像を見つけていく。</p>	<p>2000年4月～ 2000年7月</p>	<p>各章ごとに、重要な単語を覚えるようにし、 更に文法的に説明し、 その上で、練習問題を訳してもらう。</p>
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>J・G・メイチェン著『新約聖書ギリシャ語原典入門』(ニューライフ出版社)</p>	<p>同上</p>	<p>特になし。</p>
<p>3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等</p>	<p>同上</p>	<p>特になし。</p>
<p>4 その他教育活動上特記すべき 事項</p>		<p>特になし。</p>

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 教授	氏名 神田健次	大学院の授業担当の有無（有）
-----------	----------	------------	----------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 （授業評価等を含む） 大学院のゼミ指導 院生の説教集の刊行	2005年4月 以降 2005年3月	博士課程後期課程6名（大学院研究員含む）、前期課程14名の院生が所属しているので、前期課程を2組に分けて指導。さらに、月に1度、前期課程と後期課程の合同ゼミを関学会館で夕食をはさんで開催し、研究発表を行い、相互の活性化をめざして行っている。 1年半、牧師不在となった豊中の教会へ、月に一度大学院のゼミ生を派遣し、説教の実践的訓練を行い、その成果として『関西学院大学大学院生による説教集』を自費出版で刊行。
2 作成した教科書、教材、参考書 『総説 実践神学』（共同編集の責任） 『講座現代キリスト教倫理Ⅰ 生と死』（編集責任）	1989年6月 1999年7月	日本人による最初の実践神学の概論として、多くの神学部・神学校で用いられている。 現代の生と死をめぐる諸問題をキリスト教倫理の課題として編集したもので、多くのキリスト教主義大学で教科書として使用されている。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 明治学院大学キリスト教研究所での講演 活水女子大学での講演	2001年1月 2001年11月	「今日のキリスト教主義教育について」という題で、関西学院の取り組みについて紹介する。 「愛—ボランティアの心—」と題して、阪神大震災での関学のボランティア活動について紹介する。
4 その他教育活動上特記すべき事項 神戸女学院大学の非常勤講師 NHK文化講座の講師	1997年4月 より 2005年4月 より	「現代社会と宗教」という開講科目で、生命倫理や環境問題などの諸問題とキリスト教を中心とした現代の宗教との関係を講義。 「絵画が語る聖書の世界」というテーマで、ヨハネ福音書の物語と絵画をめぐって講義。

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 教授	氏名 木ノ脇悦郎	大学院の授業担当の有無（有）
-----------	----------	-------------	----------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>フィールド・ワークによる日本宗教史の理解（仏教史、新宗教）</p> <p>パワーポイントによる視覚取材で、学生の理解を深める</p> <p>原史料のプリントによる提示</p>	<p>2000年4月～ 2004年3月</p> <p>2004年4月～</p> <p>2000年4月～ 2004年3月</p>	<p>日本仏教史、新宗教の歴史を現地訪問し、体験学習により学生の理解を深める。</p> <p>日本キリスト教史、キリスト教の歴史、宗教改革等について、歴史的遺産を視覚により確認し、理解を深める。</p> <p>日本キリスト教史の史料をプリントし、授業において講読することにより、説明内容を具体化する。</p>
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>キリスト教史のパワーポイント史料（資料）の印刷物</p>	<p>同上</p>	<p>古代、中世、宗教改革関係文書の写真、建物、画像等の写真、現地における説明（飛鳥地方、天理）、キリシタン文献、明治期の新聞・雑誌のコピー</p>
<p>3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等</p>		
<p>4 その他教育活動上特記すべき 事項</p>		

教育実践上の主な業績

所属	職名	氏名	大学院の授業担当の
神学部	教授	窪寺俊之	有無（有）

教育実践上の主な業績	年月日	概要
教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		1) 学生の参加を促す為に、学生の意見・考え方を自分の言葉で表現させるように努めている。その為に30名以下の授業では、必ず授業では1回以上の発言の機会を与えている。また、非常に適切な発言をした学生には、さらに発展させるように励ましを与え、授業への貢献度として割増点数を与えている。 2) 毎回の授業では、前回の講義内容をまとめてから、今回の授業に入ることで連続性を持たせるように努めている。
作成した教科書、教材、参考書 『スピリチュアルケア学序説』 『スピリチュアルケアを語る』 『スピリチュアルケアの手引き』	2004.5 2005.9 2000.	スピリチュアルケア学の教科書として執筆 スピリチュアルケアの多様性を扱ったもので、読みやすい入門書 スピリチュアルケアを実践することを念頭において書いた
教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし
その他の教育活動上特記すべき事項	2005.3.12 2005.3.5 2005.2.26 2005.1.22 2005.1.13 2004.10.15 2004.10.14 2004.10.9 2004.10.2 2004.8.29 2004.6.11 2004.6.7 2004.1.29 2003.12.6 2003.11.30 2003.10.26 2003.10.23 2003.9.19	三重CMCC「傾聴について」三重県津市 静岡緩和医療を考える会主催 特別講演「スピリチュアルケアの理論と実際について」静岡県 桃山学院大学ジョイントレクチャーズ「スピリチュアルケアの意義、ホスピスの大変から」 大分緩和ケア研究会特別講演「スピリチュアルケア」大分県中津市中津文化会館 「スピリチュアルケア-講義と演習」日本看護協会神戸研修センター 日本看護協会緩和ケアナース養成研修特別講義「スピリチュアルケア」社団法人 日本看護協会主催、神戸研修センター 第28回日本キリスト教社会事業同盟高齢者福祉研修会 「高齢者へのスピリチュアルケアを考える」日本キリスト教社会事業同盟主催大阪市 「キリスト教からみたスピリチュアルケア論」スピリチュアルケアワーカー養成講習会、高野山真言宗教学部主催 神戸市民福祉大学「いのちの重み-スピリチュアルケアの視点から」 こうべ市民福祉交流センター 日本基督教団南海地区特別集会「キリストの愛の広さ、深さに生かされ、輝こう」教団堺教会 緩和ケアナース養成研修「スピリチュアルケア」社団法人日本看護協会 看護教育・研究センター主催 東京 「スピリチュアルケア概説」スピリチュアルケアワーカー養成講習会、高野山真言宗教学部主催、太融寺、 金沢大学医学部「魂の叫びを聴く-スピリチュアルケアの実際」石川県金沢市 伊丹市民クリスマス「恵みと希望のクリスマス」伊丹アイフォニックホール、伊丹市民クリスマス協力教会主催、伊丹市 あいちホスピス研究会講演「スピリチュアルケア-魂の叫びを聴く」 愛知県名古屋市千種区 社団法人日本看護協会講演「スピリチュアルケア」神戸研修センター、神戸市中央区協浜海岸通 日本バプテスト同盟全国女性会関西西部会2003年度秋研修会「悲嘆の癒し-愛するものを亡くした時の心のケア」 大阪神愛教会、 2003年度 ホスピス・緩和ケア病院ボランティア近畿地区研修会 講演「スピリチュアルケア-魂の叫びを聴く」

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 助教授	氏名 土井健司	大学院の授業担当の 有無（無）
-----------	-----------	------------	--------------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>学生の理解度を深めるためのテキストの作成、また学生からの質問に答えるための著作の執筆など、講義に即して学生に向かった授業を行うようした。</p>		
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>『現代を生きるキリスト教』(教文館)</p> <p>『キリスト教を問いなおす』(ちくま新書)</p>		<p>『現代を生きるキリスト教』は聖書の概論などをあつかった第一部と現代の諸問題とキリスト教の関係を論じた第二部とから成り、この第二部では男女、家庭、経済、グローバル化、生命、自然環境問題、終末思想を論じた。</p> <p>『キリスト教を問いなおす』では、学生からの率直な質問、疑問に答える形で平和、隣人愛、神、祈りについて論じた。</p>
<p>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</p> <p>明治学院大学キリスト教教育研修会にて 「キリスト教の基礎」について」と題して講演</p>	<p>2000.1.17.</p>	<p>大学におけるキリスト教教育の問題、方法、工夫などを講演した。</p>
<p>4 その他教育活動上特記すべき事項</p>		

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 助教授	氏名 中道基夫	大学院の授業担当の 有無（無）
-----------	-----------	------------	--------------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	2003年4-7月 2003年10月 -2004年1月 2003年7月2日 2004年4-7月 2005年4-7月	<p>多人数授業であるために、学生からの反応や質問を直接聞くことが難しいので、授業の最後にレスポンス用紙に質問や意見を書いてもらうようにした。その中からいくつかの質問や意見を選び、次の授業の最初にそれに答える時間を持った。このことによって学生の理解度を知ることが出来、また講義内容への関心を高めることが出来た。</p> <p>同講義において、授業で配布したレジュメや資料等をWeb上に公開した。</p> <p>葬儀に関する授業において、その内容を深め、実践的な知識を深めるために大阪にある葬儀社を訪問し、今日における葬儀の現状や将来に向けての課題を聞く機会をもった。</p> <p>各講義の最後にレスポンス用紙を提出してもらい、その内容をテーマ別に整理した上で次の授業において紹介した。各学生の考えをお互いに共有し、さらにそれについて話し合うことが出来た。</p>
2 作成した教科書、教材、参考書	2005年3月31日	<p>関西学院大学共同研究「暴力とキリスト教」研究会編 『暴力を考える』、関西学院大学出版会、2005年。</p>
3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき 事項	2004年5月	<p>財団法人神戸YMCAのキリスト教使命委員会委員として、一般に公開される「キリスト教セミナー」を企画・担当した。</p> <p>神戸学生青年センターのキリスト教セミナー委員として、一般に公開される「キリスト教セミナー」を企画・担当した。</p> <p>新宿朝日カルチャーセンターにて、関西学院大学提携講座「キリスト教徒芸術」を担当した。</p>

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 助教授	氏名 平林孝裕	大学院の授業担当の有無（無）
-----------	-----------	------------	----------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	2000年4月～ 2005年度春学期	(1) 「宗教学」の授業においてAV資料を用いて、世界の宗教現象を視聴覚的にうったえ、これに解説をくわえることによって、宗教現象の理解が抽象的な知識とならないように配慮している。
	2002年4月～ 2005年度春学期	(2) すべての授業において、レジュメを配布し、学生の便宜をはかっている。
	2003年4月～ 2005年度春学期	(3) 講義科目においてパワーポイントを用いて、学生が板書を写すことに専念する余り、講義に耳を傾けるのを忘れてしまうことがないように配慮している。
	2004年4月～ 2005年度春学期	(4) とくにパワーポイントを配布資料として学生に配り、ノート代わりとして利用させている。板書にかわるパワーポイントの項目に、書き加えるような形で授業の記録を学生がとるため、きわめて効果的な理解が可能となっている。
	2005年春から 試行	(5) 授業冒頭にコメント用紙を配り、前回の授業内容について振り返る問題を書かせている。授業相互の連関を学生に意識させることができると同時に、資料配布の間の時間の効果的利用にもなる。また、それは授業終了後に集めているので、授業評価の手段ともなっている。
2 作成した教科書、教材、参考書	2000年4月	(1) 総合コース「デンマーク」教科書の作成（橋本淳監修『デンマークの歴史』創元社。デンマークの黄金時代を執筆）
	2004年8月 2005年3月	(2) キリスト教と文化研究センター研究プロジェクト「スピリチュアリティと宗教」を発足し、『スピリチュアルケアを語る』の編集を担当（関西学院大学出版会）
	2005年3月	(3) 総合コース「暴力を考える」教科書の作成（前島宗甫編著『暴力を考えるーキリスト教の視点から』関西学院大学出版会。第6章「人間の欲望とキリスト教」を執筆）
		(4) 宗教学の教科書の作成（榎次正和・山中弘編著『宗教学入門』ミネルヴァ書房。「キリスト教」についての章を執筆）
3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき 事項	2004年4月～7 月	(1) 総合コース「デンマークの歴史と文学」代表者
	2004年12月	(2) 関西学院大学オープンセミナー「関西文化と日本文化（2）KAGAWAー関西・日本・世界」講師
	2005年5・6月	(3) 神戸シルバーカレッジ講師「宗教学」を担当

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 教授	氏名 水野隆一	大学院の授業担当の 有無（有）
-----------	----------	------------	--------------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 （授業評価等を含む） 各回の授業ごとのコメント・カード ジャーナリング 聖書ヒブル語での小テスト	2004年4月 ～ 2000年4月 ～ 1995年4月 ～	学生の理解度を測り、授業へのコメント・質問などを求めるために、コメント・カードを書かせている。インタラクティブな授業のあり方に役立っている。 毎時間、一定の課題を与え、それを次の授業に提出させている。このことによって、学修が受動的にならず、自ら課題に取り組み、問題を考える能力を養うことを目的としている。 初等文法を覚えさせ、語彙数を増やすために、週に1度、小テストを行っている。小テストの点は、平常点として最終評価に加えられる。
2 作成した教科書、教材、参考書 『暴力を考えるーキリスト教の視点から』 聖書ヒブル語 I テキスト 旧約聖書の解釈 A 教材 聖書入門練習問題	2005年3月 2005年4月 2004年4月 2004年4月	共著、前島宗甫編著・関西学院大学キリスト教と文化研究センター編（第3章「選民と暴力」——ボーダーの内と外、57～74頁担当）同センターでの共同研究を基に、暴力克服のための授業（総合コース）を提供。本書はそのための教科書として編集された。 アメリカで広く用いられている教科書を基に、初学者用の基礎プリントを作成した。2001年に用いていたプリントの改訂版。 ヒブル語聖書を解釈する方法について、様々な研究書・神学書・キリスト教入門書などから、それぞれの方法を表している特徴的な部分を抜き出し、教材として編集した。 聖書学の方法について、簡単に体験できるよう「練習問題」を作成し、学生に行わせている。1995年～2002年に用いていたものの改訂版。
3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき 事項 学部教務主任	2002年度、 2004～2005	カリキュラム編成、FD研修などを担当している。同時に、大学の教育課程委員、教務委員会委員、同FD部会委員、教職教育研究セ

	年度	ンター評議員、国際教育・交流センター評議員、言語教育研究センター評議員、スポーツ科学・健康科学研究センター評議員を兼ねる。
日本基督教団讃美歌委員会委員	2001年11月	教会音楽の普及、発展のために、委員会活動、書籍・楽譜集の編集、各地区・教会での研修会において講演などを行っている。
	—	
関西キリスト教音楽講習会実行委員会委員	1989年1月	キリスト教礼拝の発展と改革、教会音楽の普及と発展を目的として
同講習会講師	—	開かれる同講習会（年1回開催）の企画、運営に当たっている。
キリスト教会礼拝での説教	1993年4月	各地キリスト教会において日曜日にもたれる礼拝での講話を担当。
	—	キリスト教伝道者を養成することを設立目的とする関西学院大学神学部においては、教会に対する貢献も、重要な教育活動と認識されている。

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 専任講師	氏名 嶺重 淑	大学院の授業担当の有無（無）
-----------	------------	------------	----------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
<p>1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)</p> <p>学生の学習意欲を促進させるための様々な取り組み</p>	<p>2003年4月～ 2005年3月</p>	<p>語学の授業（新約聖書ギリシャ語、ドイツ語）においては、学生の学習意欲を高めるため、毎週授業の初めに前回の授業で扱った内容から小テストを行い、各受講者に到達度、理解度を確認させた。また、各受講者の弱点克服のために時おり補講を行った。 語学以外の科目に関しては、しばしば授業に関するコメント、質問等を提出させ、学生の理解度や関心内容を確認する手段として活用した。</p>
<p>2 作成した教科書、教材、参考書</p> <p>「自己作成したレジュメ」</p> <p>総合コース・テキスト 『暴力を考えるー キリスト教の視点から』(共著)</p>	<p>2003年4月～ 2005年7月</p> <p>2005年4月～ 2005年7月</p>	<p>専門科目の授業においては、学生の理解の助けとするために、毎回授業の概要等を記した詳細なレジュメ（毎回：A4用紙で3枚）を用意した。</p> <p>全学部生対象の総合コースの授業「暴力を考えるーキリスト教の視点から」については、他の授業担当者と共同でテキストを執筆、出版し、授業で使用している。</p>
<p>3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等</p>		
<p>4 その他教育活動上特記すべき 事項</p>		

教育実践上の主な業績

所属 神学部	職名 教授	氏名 向井考史	大学院の授業担当の 有無（有）
-----------	----------	------------	--------------------

教育実践上の主な業績	年月日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)	2000年4月～ 2005年3月 2001年4月～ 2005年3月 2002年4月～ 2004年3月	1. 旧約聖書の編集の歴史、解釈史、聖書の現代的適用に関する講義のため、各週に扱うトピックを事前に知らせ、講義への準備をし易くするために、詳細なシラバスを作成して、プレティンに掲載している。 2. 旧約聖書の解釈は初代教会の時代から2000年に亘ってなされて来たことであるため、どの時代にどのような解釈が施され、それが次の時代にどういった影響を与えたかという影響評価をはじめ、特に近現代の解釈者達との対論を通して、多文化・多宗教環境における従来の聖書解釈という作業の方法と解釈の問題点を明らかにするよう務めている。この解釈者達との対論は、学生達の授業評価においても評価されている。 3. 神学部には中高年の学生も多く、パソコンを使用しない学生もいる可能性を考慮して、Web上ではなく、紙ベースで実施した。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する 発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき 事項 1. 老人病院付属教会での礼拝説教と 病床訪問	2001年4月～ 2005年3月	1. 高齢者がどのように死を迎えるかというのは大きな社会的問題であり、牧師にとっても必須の課題である。キリスト教会の教職(牧師)を養成する機関でもある神学部の教員は、この問題を避けて通ることができない。 月1回もしくは2回、老人病院付属教会で礼拝を担当し、礼拝後病床訪問を続けている。自分自身が宗教家として学び、訓練される場でもある。この場に神学部学生が出席することもあり、その場合には病床訪問に同道して、牧会の現実的課題とその対処の仕方を学ばせ、牧師という職務の重さを認識できるようにしている。

